

平成29年度 長崎県美容専門学校 自己点検・評価報告書

【評価 適切・・・4 ほぼ適切・・・3 やや適切・・・2 不適切・・・1】

(1)教育理念・目標・人材育成像

評価項目	自己評価
(1)学校の理念・目的・育成人材像は定められているか。	3
(2)学校は、学習指導、生活指導をとおして社会人としての基本を学び、美容業界の発展に貢献できる教育をおこなっている。	4
(3)各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか。	3

【意見】

・外部の人たちの技術が見れてとてもいい。

【改善のための方策】

・学生の意見に反映した特別授業を今後も行っていく。

【関係者評価】

・生徒に評価を受けている取り組みは、今後も継続していくべきである。

(2)学校運営

設 問	自己評価
(1)目的に沿った運営方針が策定されているか。	4
(2)運営方針に沿った事業計画が策定されているか。	4
(3)運営組織や意思決定機能は、定期的に明確化されているか、また有効に機能しているか。	4
(4)人事、給与に関する規程等は整備されているか。	4
(5)教務・財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか。	4
(6)業界や地域社会などに対するコンプライアンス体制が整備されているか。	4
(7)教育活動などに関する情報公開が適切になされているか。	4
(8)情報システム化などによる業務の効率化が図られているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(3)教育活動

設 問	自己評価
(1)学校は、配布されたシラバス(授業計画)に基づき、計画的な学習指導を行っている。	4
(2)学校は、専門教科とその他の教科を、バランスよく配分し、基礎力の育成に向けた指導がなされている。	3
(3)先生達は、実技の授業で各技術ごとに細かい指導をおこない基礎技術、接客技術の向上を目指している。	3
(4)学校は、資格取得を目標に授業の中で試験対策等をおこなっている。	3
(5)学校は、成績・評価について学則に定めており、また企業関係者からの評価については、学外コンテスト、技術大会等に出場し受賞を目指している。	4
(6)学校は、挨拶や礼儀作法等の指導を徹底し、節度ある規則正しい生活を身につけさせている。	3

【意見】

・授業計画が突然変更することが多い。

【改善のための方策】

・出来る限り早めに対処します。

【関係者評価】

・ハード面での変更はなかなか厳しいと思うが、ソフト面の対応は柔軟に対処していくべきである。

(4)学生指導等

設 問	自己評価
(1)基本的生活習慣の確立のため取り組みが行われているか。	4
(2)学生の完全管理のための取り組み等(災害共済保険、スクールカウンセラー発達障害のある学生等への支援が行われているか。	3
(3)学生・保護者からの相談体制が整備されているか。	3
(4)進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(5)特別活動等

設 問	自己評価
(1)クラブ活動等特別活動を推奨、支援しているか。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(6) 学修成果

設 問	自己評価
(1) 学校は、企業参加の就職説明会を毎年定期的に行い、学生に対しての就職支援に努めている。また、個別に2者面談を定期的に行っている。	4
(2) 学校は、資格取得率の向上に対してのサポート体制をとっている。	4
(3) 学校は、退学率の低減について担任制による学生指導の実施、定期的な個人面談、教職員全体でのサポート体制をとっている。	3

【意見】

・もっと有名なサロンを呼ぶべき。規模が小さい。

・退学率の低減について対策をねるのはいいですが、「脅し」はダメだと思います。そんなやり方してたら、生徒からの信頼がなくなると思います。正直に話した方がいいのでは？

・合同就職説明会などの情報をもっと欲しかったです。

【改善のための方策】

・有名サロンの参加はなかなか難しく、今後は学生に、サロンの現状をしっかりと説明していく。

・「辞めてほしくない」という気持ちを正直に伝え、よく話し合えるようにしていく。

・個別相談等の時間を設ける。

(7) 学生支援

設 問	自己評価
(1) 学校は、進路、就職に関する支援体制を整備している。	3
(2) 学校は課外活動(放課後練習、ワインディング部等)に対する支援体制を整備している。	3
(3) 学校は、学生相談に関する体制を整備している。	3
(4) 学校は、保護者への連絡を適切に行い、連携体制をとっている。	3
(5) 学校は、健康診断を毎年実施し、学生の健康面での支援を行っている。	3
(6) 学校は、学費納入サポートとして複数設定しており、無理のない学費納入計画を作成し、安心して学校生活を送れるよう支援体制をとっている。	3

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(8) 教育環境

設 問	自己評価
(1) 学校は、施設、設備等教育上の必要性に十分対応できるように整備している。	3
(2) 学校は、特別授業として、各種イベント、ヘア・ファッションショー、おくんち見学、外部講師によるセミナー、サロン見学などを定期的に行っており、学生の感性や創造性の向上を目指している。	4
(3) 学校は、防災訓練を定期的に行っている。	4

【意見】

・携帯の回収、監視カメラでの行動把握など、生徒を縛り過ぎている。それで辞める人もいると思う。限度があるのでは。

【改善のための方策】

・改善するために早期に対策を考え、より良い環境作りをします。

【関係者評価】

・「監視カメラ」の設置について、教室内は不要ではないか。教室は学生にとって「自分の部屋」と同じで、自分達は信用されていないと感じるのではないか。学生のロッカーや高額な機器が設置されている部屋には必要だと思う。

個人のスマホとの棲み分けとして、今後、タブレットでの教育を受けた学生が入学してくる時代なので、学校で準備する必要があるのではないか。タブレットを使用することで、必要な情報(調べもの等)を個人のスマホを使用する必要はなくなるとされる。入学する時点で準備し、入学金の中に計上しておく。

スマホ回収について、就職したら常にスマホに触れる訳ではない(お客様優先である)ので、トレーニングの一環として、自己訓練・鍛錬と位置付けるのはどうか。

・専門学校は、国家試験に必要なものを勉強させれば良いわけではないので、人間的に大きく成長する為に必要な意味のある「学生に不人気な行事」にも、積極的に取り組む必要がある。

・ヘアショー開催日程について、「祭日の月曜日」はどうか？高校生・保護者・卒業生・美容関係者のニーズを満たすのではないか。また当日は、学生と卒業生の交流が生まれる場と成り得る。

(9) 学生の受け入れ募集

設 問	自己評価
(1) 学生募集活動は適正に行われているか。	4
(2) 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	4
(3) 学納金は妥当なものとなっているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(10)財務

設 問	自己評価
(1)中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。	4
(2)予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	4
(3)財務について会計監査が適正に行われているか。	4
(4)財務情報公開の体制整備はできているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(11)法令などの遵守

設 問	自己評価
(1)法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4
(2)個人情報に関し、その保護の為の対策がとられているか。	4
(3)自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	4
(4)自己評価結果を公開しているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。

(12) 社会貢献・地域貢献

設 問	自己評価
(1) 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか。	4
(2) 学生のボランティア活動を推奨、支援しているか。	4
(3) 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練を含む)の受託などを積極的に実施しているか。	4

【意見】

・特にありません。

【改善のための方策】

・特にありません。

【関係者評価】

・特にありません。